

2017年2月9日

報道関係各位

株式会社日本人材機構

首都圏大手企業管理職の就業意識調査2016 <下期>

首都圏の大手企業管理職は、キャリアをやり直せるとしたら、**56%**が『転職したい』と考えている。

『現在の職場が<キャリアの棚卸の場>を設けている』と回答した管理職は**48%**。

『設けている』と回答した管理職の**73%**が、『自分らしく働いている』と回答し、
『設けていない』と回答した管理職に比べ約20ポイント高い

『設けていない』と回答した管理職のうち**59%**が<キャリアの棚卸の場>があれば
『有効である』と回答

株式会社日本人材機構（本社：東京都中央区 代表取締役社長 小城武彦）は、
首都圏管理職の就業意識調査を行いました。ここに調査結果の要旨をご報告いたします。

1、調査結果サマリー

- ・ 首都圏の大手企業管理職は、もう一度キャリアをやり直せるとしたら、56%が「転職したい」と考えている。
- ・ 「現在の職場が<キャリアの棚卸の場>を設けている」と回答した管理職は48%。
- ・ 「現在の職場が<キャリアの棚卸の場>を設けている」と回答した管理職の75%が、「自身にとって有効」と回答。
- ・ 「現在の職場が<キャリアの棚卸の場>を設けていない」と回答した管理職でも、59%が「制度があれば有効である」と回答。
- ・ 「現在の職場が<キャリアの棚卸の場>を設けている」と回答した管理職では、73%が「自分らしく働いている」と回答。
- ・ 「現在の職場が<キャリアの棚卸の場>を設けていない」と回答した管理職では、54%が「自分らしく働いている」と回答。